

にぎわいにつながる産業の振興

目指す姿

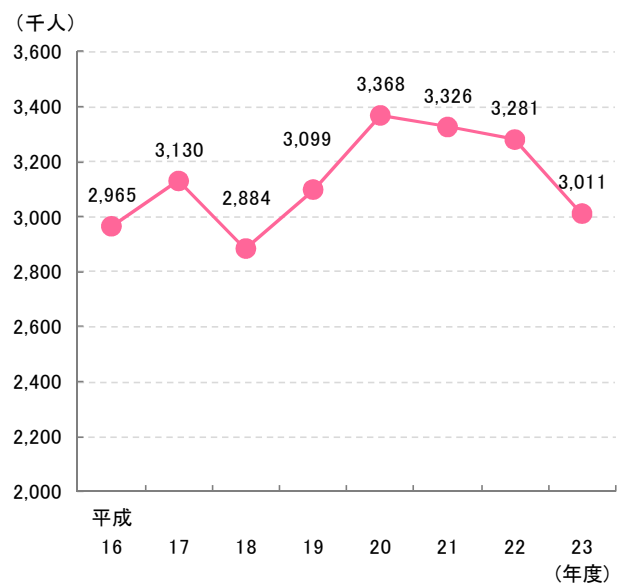
にぎわいを創出する観光産業や商業が活性化し、何度でも訪れたいまちとして中心市街地などが多くの人でにぎわい、まちが活気にあふれています。

現状・課題

- まちのにぎわいの核となる中心市街地には、商業施設が集積しています。一方で、百貨店などの大型商業施設が撤退し、新たなにぎわいの創出が望まれています。
- 市内各所の商店街は、活力ある地域づくりを支える重要な担い手として期待されていますが、商店街の集客力向上や空店舗の活用などが課題となっています。
- 年間300万人を超える高尾山の観光客に、中心市街地などへ足をのばしてもらうことが望まれています。
- 市は観光をPRするため、外国語観光パンフレットを作成し外国人観光客の誘致を推進してきました。

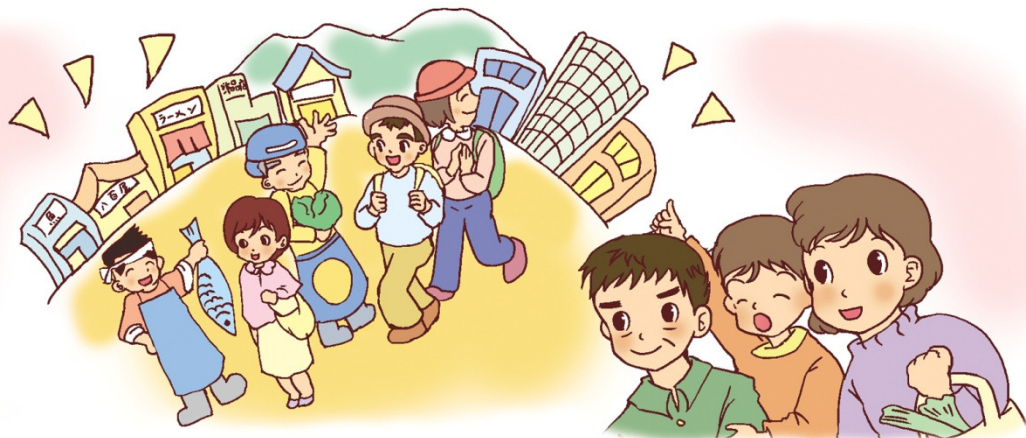
データ

■市内観光地への観光客数



関連する個別計画・条例

産業振興マスタープラン【第2期】、
中心市街地活性化基本計画、
いきいき産業基本条例 など



施策の展開（課題解決に向けて必要なこと）

1 中心市街地活性化の推進

- 産業交流拠点整備や八王子駅南口周辺のまちづくりと連携して、中心市街地活性化を推進します。
- ビジネスやイベント・展示会などに訪れる人を買い物・観光・飲食などにつなげるおもてなしの取組を商業者や市民とともにすすめます。
- まちや商店街の活性化につながる、空店舗・空フロアの活用をすすめます。

2 商業の振興

- 地域づくりを支える担い手として商店街が実施する活性化に向けた取組や、地域の課題解決に向けた取組を支援します。
- IT 事業者などと連携し、商店街や魅力的な個店を PR する仕組みづくりをすすめます。
- 魅力ある個店づくりに向け、意欲ある事業者を育成します。
- 意欲的に取り組む事業者のグループ化をはかり、商業を活性化するための取組を支援します。

3 観光地の魅力の向上

- 高尾山や中心市街地などに多くの人々が訪れやすい環境を整えるなど、魅力を高める取組をすすめます。
- 観光情報を国内外に広く発信して、観光ボランティアと協働しながら本市の魅力を PR することで、観光客誘致に努めます。
- 海外友好交流都市などとの交流を通じて、より多くの外国人観光客の誘致をはかります。



行政の役割

- ◇ 中心市街地の活性化と空店舗対策の推進
- ◇ 商店街や魅力ある商店の活性化支援
- ◇ 観光地としての PR 推進と観光客誘致策の推進



市民への期待

- ◇ 市内にどのような商店などがあるか知る
- ◇ 買い物はなるべく市内ですよう心掛ける
- ◇ 魅力ある店舗について身近な人に伝える
- ◇ 市内の観光スポットを知り出掛けてみる

目標設定

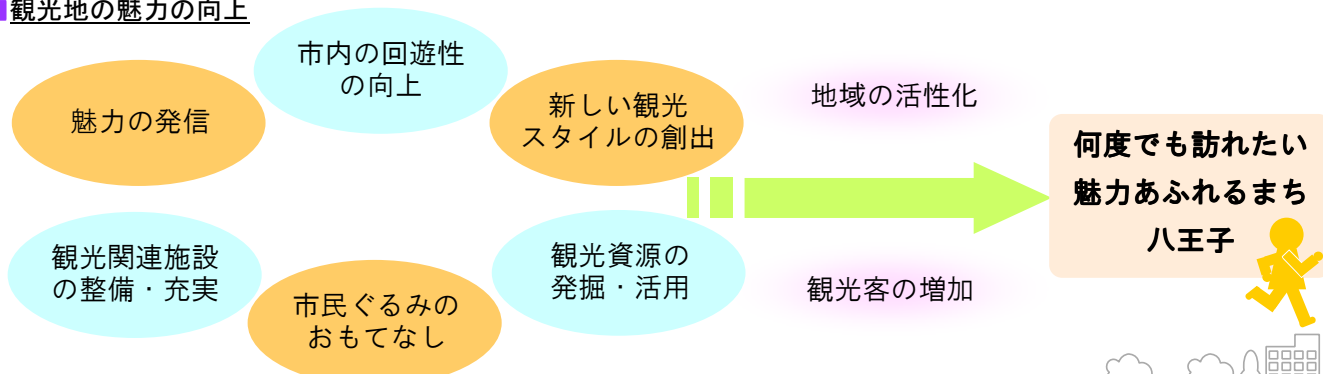
施策に対する指標	現状値	目標値	
		平成 29 年度	平成 34 年度
年間商品販売額の伸び率	市 0.95 (全国 0.86) (指数) (平成 19 年度)	全国の伸び率を	
		0.01	0.01
		上回る	

商業の活性度をはかる指標です。卸売・小売業の年間商品販売額の伸び率が、全国の伸び率を上回ることを目標とします。

観光客数	301 万 人/年 (平成 23 年度)	339 万 人/年	383 万 人/年
------	----------------------------	--------------	--------------

にぎわいを創出する観光地としての魅力をはかる指標です。高尾山や八王子城跡などを訪れる観光客の増加を目指します。

■ 観光地の魅力の向上



地域資源を活用する産業の振興

目指す姿

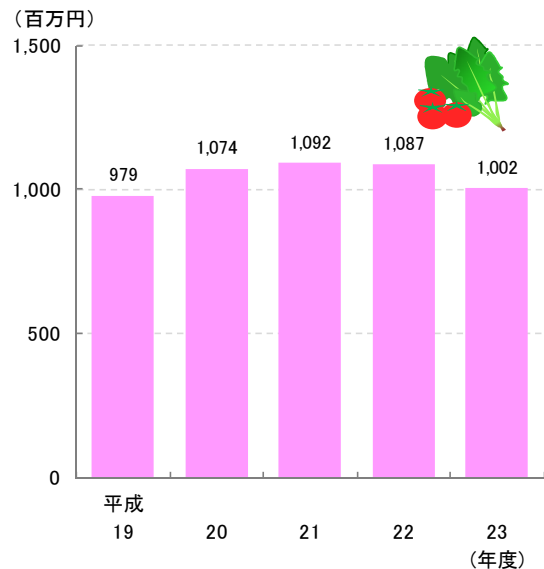
地域資源の新たな魅力を活かすことで観光産業・農業・林業の振興がはかられています。また、農業の担い手の育成や農地の有効活用により、都市型農業が確立しています。そして、八王子ブランドの創出により、まちの魅力が高まっています。

現状・課題

- 本市は豊かな自然や八王子城跡・滝山城跡などの歴史資産に恵まれています。今後は、こうした史跡の活用とともに、新たな観光資源の発掘が求められています。
- 市は 27 億円を超える都下随一の農業生産高を誇っていますが、耕地面積は年々減少し、また、農家は後継者不足や獣害被害などの問題を抱えています。
- 市は地産地消による都市型農業を推進するため、農家の後継者育成、11 か所の農家直営農園の整備促進、道の駅・農産物直売所の設置などをすすめています。
- まちおこしの観点から、名産品・観光資源・農林畜産物などを活用した地域ブランドの創出が求められています。
- 林業は、木材価格の低迷や従事者・後継者不足などの課題があり、産業として継続が困難な状況にあります。

データ

道の駅八王子滝山販売額



関連する個別計画・条例

産業振興マスタープラン【第2期】、
第2次農業振興計画、いきいき産業基本条例、
道の駅条例 など



施策の展開（課題解決に向けて必要なこと）

1 新たな観光資源の発掘・活用

- 新たな魅力を活かした観光資源の発掘や活用を行い、広く情報を発信してまちのにぎわいや産業の創出につなげます。
- 地域にゆかりのある人物やいわれなどをテーマにした、地域活性化につながる新しい観光スタイルを発信し、八王子の魅力を提供します。

2 都市型農業環境の整備

- 産業として自立した農業を確立するため、魅力ある農作物の生産や安定供給を支援します。また、地産地消を推進するため、道の駅などで安全・安心な農作物を提供していきます。
- 農業を継続するための後継者育成やボランティアの活用等により、高齢者世帯の農家を支援します。
- 農地の有効活用のため、資源循環型社会を視野に入れた遊休農地の活用や農地の貸し借りができる制度を推進します。また、獣害被害の軽減のため、農地のパトロールや農家への防除指導を実施します。
- 市民が農業にふれあう機会を確保するために、市民農園の整備や親子農業体験を実施します。

3 林業の再生

- 国・都・林業団体・所有者と連携し、森林の保全や機能回復などをはかります。
- 林業への理解を深め、また、八王子産の木材を普及・啓発するため、間伐材の活用をすすめます。

4 地域ブランドの創出

- 観光資源や農林畜産物、その他の地域資源を活用した八王子ブランドの創出をすすめます。
- 地域に対するイメージの確立や地域の活性化のため、地域の名産品の発掘や開発を促進します。



行政の役割

- ◇ 観光資源の発掘と八王子の魅力の情報発信
- ◇ 遊休農地を活用した農業振興策の推進
- ◇ 農作物の安定供給と地産地消の支援
- ◇ 森林の保全・機能回復と間伐材の活用
- ◇ 八王子ブランドの創出と名産品の発掘・開発



市民への期待

- ◇ 気になるまちの情報を収集し出掛けてみる
- ◇ 地元の農作物を購入する
- ◇ 八王子らしさを売りにした店を身近な人に紹介する

目標設定

施策に対する指標	現状値	目標値	
		平成 29 年度	平成 34 年度
農業産出額	27 億 9,000 万円/年 (平成 21 年度)	28 億 4,600 万円/年	29 億 300 万円/年

市の農業の活性度をはかる指標です。今後 5 年ごとに約 2% ずつ増加させることを目標とします。

八王子産の農産物を常に意識して購入している市民の割合	27.5% (平成 21 年度)	40%	55%
----------------------------	---------------------	-----	-----

市における地産地消の推進の度合いをはかる指標です。10 年後には現状の倍とすることを目標とします。

■ 地産地消の推進

